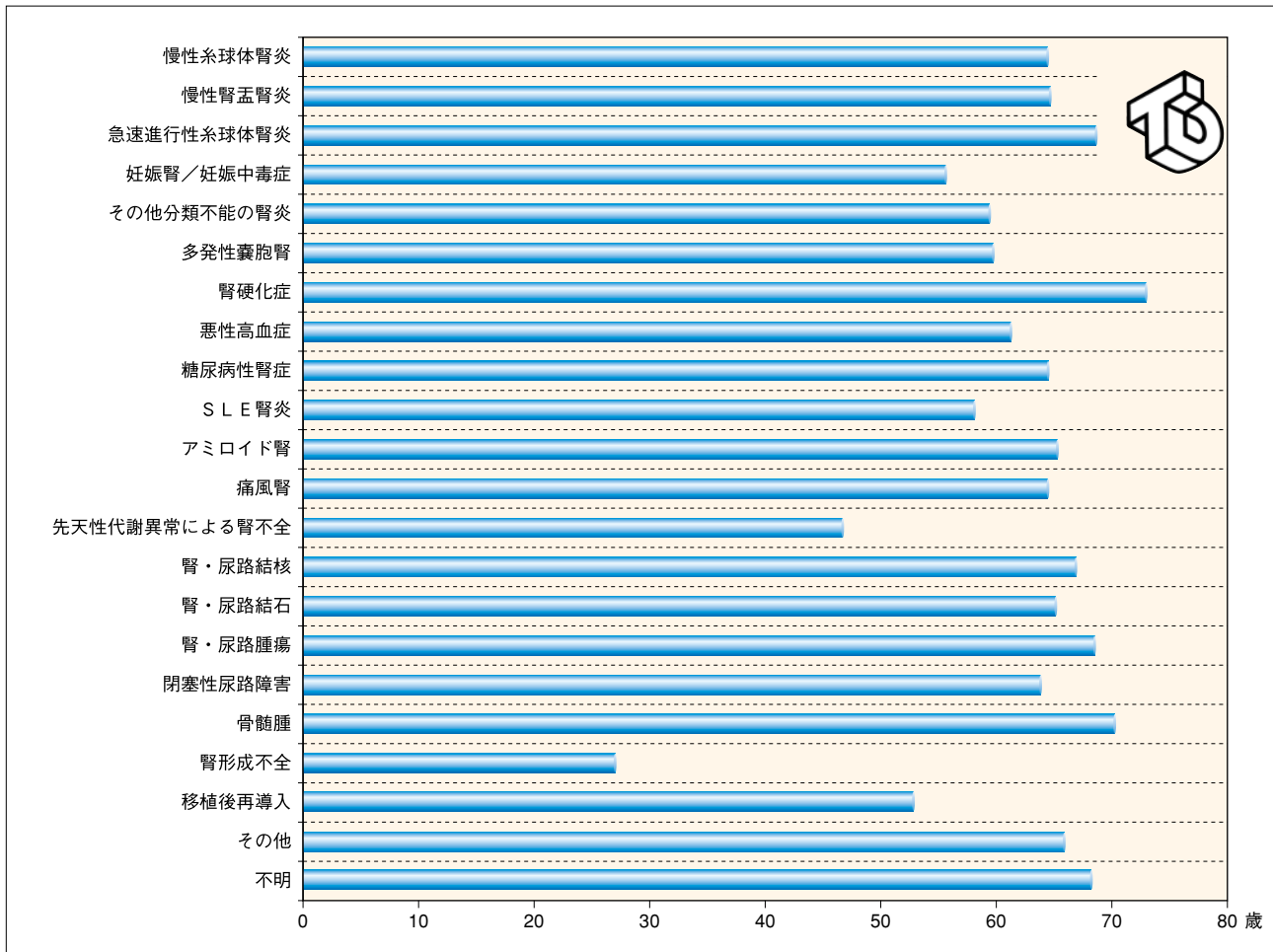


3) 導入患者の現状

(2) 導入患者の原疾患と平均年齢 (図表10)



解説

導入患者の原疾患別人数と平均年齢

2003年に透析療法に導入された原因疾患を%表示しています。透析に導入された原因疾患は、糖尿病性腎症が41.0%と最大であり、次に慢性糸球体腎炎の29.1%、不明8.8%、腎硬化症8.5%となります。原因疾患不明というのは前回の調査より減少していますが、原因疾患が何かを臨床的に検討することがいかに大切であるかを強調したいと思います。

疾患別の導入時の平均年齢は糖尿病性腎症では64.49歳、慢性糸球体腎炎では64.45歳であり、全体の平均年齢は65.35歳となります。腎硬化症においてもっとも高年齢（72.97歳）であることが示されます。